

(4) 様式 4_助成事業実施報告書

2019年 8月 20日

助成事業実施報告書

団体名.....特定非営利活動法人マナーズ

代表者・役職名 氏名.....理事長 宅間 佳代子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

ホームの外観をきれいに。児童が利用できる庭整備

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

当法人は平成21年に法人を設立し、ボランティアで身寄りのない子供達をサポートして来ました。その事業を受けて平成25年4月からは自立援助ホーム「ハレルヤ・ファミリー」を開設し、よりしっかりとした体制を整え児童をサポートしています。現在はそれに加えてこども食堂をオープンし包括的なこども支援を行なっています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

ハレルヤ・ファミリーで使用している建物も老朽化が進み、外装が著しく破損している箇所がいくつも出て来ました。その中でも、自転車を止める場所に設置してあるカーポートと児童が洗濯物を干す裏庭の整備は緊急性が高く、適切な整備が必要でした。必要箇所を修繕することにより、児童が安全に自転車置き場を利用することができるようになります。また洗濯物を裏庭に簡単に干すことができるようになり、安全で健全な生活環境を整えることができます。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

現在ホームに設置されてある破損したカーポートを撤去し、新しいものに取り替えました。また段差があった裏庭には児童が洗濯物を干しやすいように、ホームの吐き出し窓から外に簡単に出入りができるテラスを設置しました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

新しいカーポートを設置した事により児童の自転車が雨に濡れる事がなくなりました。ホームの外観も良くなり、気持ちよく生活ができるようになりました。また裏庭にテラスを増設した事により、子どもたちが洗濯物を外に干す事が可能になり、部屋に洗濯物を干す必要がなくなりました。それにより湿気等に悩まされる事なく清潔な環境で生活ができるようになりました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

ホームの外観は今回の整備によって大幅に綺麗になりました。他に修繕が必要なところはホームの敷地と隣の建物を分けるフェンスのみになります。安全性と防犯性を考え、来年にはフェンスの交換を計画に入れたいと思います。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし